



四日市市立朝明中学校
3年生学年通信
平成31年1月11日(金)
その63 文責(浅野)

面接対策

～覚えるだけではいけない。やはり普段の生活から！～

3学期がスタートして、はやくも週末。実力テストが終わり、来週にはまたテスト。私立高校の願書の受付も始まり、来週からは私立入試がはじまります。いよいよですね。昨年までの様に「少しずつ冬休みモードから学校モードに戻していきましょう」なんて言っている場合ではないのは分かっていると思いますが・・・何よりも、焦らないこと。落ち着いてやれることをやればいいのです。今はそれしかありません。

さて、これから始まる受験で多く取り入れられている面接。2学期から少しずつ練習はしてきていますね。昨日から本格的に各学校別での練習がはじまりました。学校で出来る練習は限られています。それぞれの先生からもらったアドバイスを元に、生活の中で練習していくことが大切です。

さて、昨日の面接練習で気になったことを少し。まずは、質問に対する答えの具体性です。面接は一問一答形式ではありません。高校は質問に対するあなたの考えを聞きたいのです。その考えの元、答えが導き出されるのです。「志望動機」と聞かれて「設備が整っているからです」では、高校が期待している答えにはなりません。どんな設備なのか、またその設備が、この高校で学ぶ上であなたにとってどんな利点があるのか、そしてどのように高校卒業後の将来につながっていくのか、というあなたのしっかりとした考えを聞きたいのです。要するに、あなたが高校に期待すること、他の高校にはなく、この高校にしかない魅力を訴えなくては、説得力ある答えにはなりません。しっかりと準備しておきましょう。

次に、内容がいくらしっかりと考えられていても、うまく話せなくては意味がありません。テンポ、声のトーン、さらに「敬語」です。特に敬語はしっかりと練習しておかなくてはなりません。面接では、敬語が必要です。面接官のほうが、立場が上になりますから、確実に敬語を使うのが常識です。

日本語は敬語の種類もさまざまです。「**尊敬語**」は目上の人を敬う表現で「相手を立てたいとき」に使うものです。また、「**謙譲語**」は自分がへりくだる表現で「自分を下げることによって相手を立てたいとき」に使います。そして「です、ます」をつける「**丁寧語**」は、日常会話でもよく使い、相手を問わず使う表現です。高校受験の面接では、ここまでの使い分けは難しいので、とにかく面接官に対して、「伝えたい」という姿勢で、一言一言を丁寧に話すことが重要です。緊張している中で「正しい日本語(尊敬語・謙譲語・丁寧語)を使わないといけない！」となるとさらに焦って失敗してしまいがちです。**敬語を知っているからといって、うまく話せるとは限りません。**敬語を「知っている」と「話せる(使える)」は、別です。野球のルールを知っているからといって、野球もうまくプレーできるわけではない、という話と同じです。野球をうまくプレーするには、やはり練習が必要です。ルールは、**頭ではなく、体で覚えるものです。**面接でも同じなのです。敬語を話すには、やはり練習です。普段の生活の中で、実際に使う場を設けていくことです。身近な**先生や親など、立場が上の人に対して、できるだけ使う**のです。そしてたくさん間違えて、教えてもらうことが最大の勉強法だと思います。社会に出て必ず役に立つことです。できる限り敬語には慣れておくようにしましょう。

受験生のための「余計なお世話」な話 ～日常生活で面接を意識～

このような言葉遣いには要注意！

『ら抜き言葉』…×見れます → ○見られます ×出れます → ○出られます
『い抜き言葉』…×知ってます → ○知っています ×見てます → ○見えています
『さ入れ言葉』…×言わせていただきます → ○言わせていただきます
×読まさせていただきます → ○読ませていただきました

話し方は、「普段のくせや言葉遣い」がどうしても出てしまいます。「えっとお～」「なんかぁ～」「〇〇で～」
「失礼しま～す」と伸ばし言葉になったり、「まじ」「やばい」「～だったんっすよ」「～って感じ」など友達と話すような言葉遣いではまずいです。日ごろから敬語を使うように意識しておきましょう。

他にも・・・ 敬語以外にも、家庭や学校などで普段から気をつけて練習できること！

- 扉の開け閉め…ノックをしてから入室するまでの流れを！こっそり練習するにはトイレが最適！
- 立ち振る舞い…入室してから席に向かうまでの歩き方を！意外と練習しておかないと本番でロボットに！？
- 椅子の座り方…椅子の横から前に1歩移動して椅子の前に！勉強する時や食事する時に！家族もびっくり！
- 座る姿勢……手の位置、ひざの閉じ開き！この時間が一番本番では長い。授業で意識！
- おじぎ……背中、手、目線が自然な動きに！朝一番家族に出会ったら、おじぎしながら挨拶。学校でも。
- ほどよい笑顔…普通の表情と笑顔を交互に！毎朝顔を洗うときに、鏡で確認。「ニヤリ」じゃなく「ニコ」
- 目線……相手の顎の下あたりから首のつけ根を！家族や先生との会話では常に意識を。近いと変です。
- プロを観察……近くの店員さんはあいさつのプロ！飲食店やコンビニに行ったら必ずじっと見つめて観察。
- ながら動作禁止……～しながらの行動を絶対になくす！動作はひとつずつ。これは普段からやってないと。

これらもすべて「敬語」と同じように、普段の生活から心がけないと体が覚えてくれません。要するに面接は君たちの生活そのものを観察するものでもあるのです。さらに考え方や価値観について聞くことが大きな目的なのです。

受験生のみんなに贈る有名人の名言集 60 2019 年度公立高校前期選抜入試まで 27 日、後期選抜入試まで 59 日/卒業まで 37 日

**“Watch your thoughts, for they become words.
Watch your words, for they become actions.
Watch your actions, for they become habits.
Watch your habits, for they become character.
Watch your character, for it becomes your destiny.”**

訳「考えは言葉となり、言葉は行動となり、行動は習慣となり、習慣は人格となり、人格は運命となる。」
英国初の女性首相マーガレット・サッチャーの言葉。似たような言葉がありますね。「心が変われば～」というものです。もともとは、ヒンズー教の経典にあるものとか・・・いずれにせよまさにその通りです。このように成長していきたいです。

✓ **CHECK** Watch は命令形「あなた自身の～を見つめなさい！そうすれば必ず～」というのが直訳なのでしょうね。